

平成27年11月

保護者様

神奈川県野球連盟

会 長	山口 宏
同 理事長	小林三郎
同 学童部理事長	今村勝也

神奈川県中学校体育連盟

軟式野球専門部長 坂脇寛人

神奈川やまゆりクラブ（中学部）発足について

日頃より、当連盟の事業にご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて来年度、全日本軟式野球連盟が主催となり、京都で女子中学生のための全日本女子中学軟式野球大会《平成28年7月29日（金）～8月1日（月）》が開催されることとなりました。神奈川県野球連盟としましても神奈川県内の女子中学生が活躍でき、大きな目標となることは、喜ばしいことだと考えております。

しかし残念なことに、当連盟に女子中学生軟式野球チームの登録がありません。学童部においては、女子選手の増加に伴い県大会の実施や選抜チームを編成し、全国大会での優勝実績など、活躍の場が広がっていますが、その選手たちが中学生になると活動できる環境がまだまだ整っていないのが現状です。その結果、多くの女子生徒はソフトボールをはじめとして他競技への転向を余儀なくされています。

この様な現状を踏まえ、遅ればせながら神奈川県野球連盟としては神奈川県中学校体育連盟軟式野球専門部と協力し、地域の皆様によって大切に育てていただいた野球好きな少女たちを、継続して活動できる環境を整えることによって、次のステージにつなぎ、野球人口の増加・野球の発展につなげるため、神奈川やまゆりクラブ（中学部）を発足させます。

●はじめに

2020年東京オリンピックの正式種目に「野球」復活が叫ばれている中、今後の野球界に大きな影響を与えるであろう「女子野球」への取り組みが広がっています。女子プロ野球の復活をはじめ、全日本軟式野球連盟においても学童（少女）を対象とした「NPBガールズトーナメント」を主催されております。そしてこの度、中学生女子を対象として全国大会を主催されることとなりました。

中体連においても、年々部員数が減少している中、女子野球部員は増加（H26年度104名→H27年度130名）しております。しかし、女子生徒が中学生になって野球を続ける環境がまだまだ整っていないのが現状です。その結果、多くの女子生徒はソフトボールをはじめとして他競技への転向を余儀なくされています。

●中学校における部員数の状況

	1年生	2年生	3年生	合計
H 2 6 年度	4,248 人(34)	3,977 人(37)	3,607 人(33)	11,832 人(104)
H 2 7 年度	3,183 人(53)	3,657 人(34)	3,903 人(43)	10,743 人(130)

※ () 内は、女子部員数

神奈川県内の中学校部員数は、H 2 6 年度からH 2 7 年度にかけて 1,089 人と大きく減少しています。少子化によるものも原因の 1 つだと考えていますが、全体的に野球人口減少が明確に表れています。一方で、女子野球部員数は、H 2 6 年度からH 2 7 年度にかけて 2 6 人増加しており、学童での少女野球が盛んにおこなわれ、少女野球人口の増加と共に中学生になっても、野球を続ける生徒が増えたことが要因と考えています。

しかし、少女野球人口から考えると中学生女子野球部員は、ごく少数であることは明白です。中学生における女子野球の環境整備の遅れが原因だと考えています。早急な対策および対応が必要です。

●神奈川県やまゆりクラブ（中学部）チーム発足へ

①中学校部活動での「野球＝男子」

野球という競技が男子の競技であるというイメージがまだまだ強く、他競技のように「男子○○○部」、「女子○○○部」などと言った男女それぞれに種目が成立していません。

各中学校では、少数の女子部員が男子部員の中に混ざって活動せざるを得ない状況で、**思春期を迎える時期に強い意志がないと活動を続けることが困難**です。そこで、多くの女子生徒はソフトボールをはじめとして他競技への転向を余儀なくされているのが現状だと認識しています。

②中体連組織ではできないこと

神奈川県中体連の組織は、8ブロック（横浜・川崎・相模原・横須賀・湘南・県央・県西・中）に分かれており、このブロックを超えてチーム等を編成して活動することが現状では**困難**です。他競技でも中学生の神奈川県選抜チームを編成している競技が存在しますが、それぞれの競技の連盟や協会、JOCなどが母体となり、チーム編成をしています。

県内の学童で育てていただいた女子中学生が、野球を続ける環境を整えるためには、**県野球連盟主導でのチーム編成**を考えました。従って、中体連の活動ではなく、神奈川県野球連盟中体連支部（社会体育としてクラブチーム）としての活動となります。その中で指導者等の人材については、思春期を迎えた多感な時期なので中学校の先生が中心となり、一県民として活動を支えていきます。

③活動場所について

活動場所については、学童部（今村理事長）のご協力のもと、境川遊水地グラウンドを中心の活動を現在計画中です。

④対象選手について

選抜チームでは、ありません！「野球好きな少女たちを、継続して活動できる環境を整えることによって、次のステージにつなぎ、野球人口の増加・野球の発展につなげる」ことを目的の1つにしているからです。

対象選手については中体連支部としての活動を考えているため、県内中学校野球部に所属している生徒が望ましいと考えています。しかし、課題①で挙げたように、「少数の女子部員が男子部員の中に混ざって活動せざるを得ない状況で、思春期を迎える時期に強い意志がないと活動を続けることが困難である」ことを考えると、**野球部に所属していない生徒も対象選手とし、より多くの野球好きな女子生徒の活動機会となればと考えています。**

中学校内での部活動との兼ね合いについては、野球および他競技に関わらず、当該校の部活動顧問の先生とお話していただき、当クラブの活動に支障がなければ問題ないと考えています。また、**二重登録の件についても女子野球普及を目的としているため、中学校での選手登録と当クラブチームでの選手登録での二重登録については、問題ありません。**

⑤競技大会について

運営スタッフとしては、野球を通しての子供たちの成長と野球の発展を願っていますが、子供たちにとっては競技スポーツである以上、大会に出たい、勝ちたいと願う気持ちを持つのは当然のことだと考えます。そこで大会には、3月末に埼玉県で行われる関東大会と7月末に京都府で行われる全国大会の2大会の参加を目指します。大会出場にあたっては、大会期間中の遠征費（全国大会4万～8万円程度）が必要になると予想されます。

⑥活動日（頻度）について

スタッフの編成をはじめ、活動してみないと見えない課題もまだまだ多くあると予想されます。まずは月2回程度（第二日曜・第四土曜の午後1時～）の活動を基本とし、大会直前に集中練習を計画しています。※後日、スケジュールをご案内させていただきます。

⑦用具について

キャッチャー道具、ボール等は、受益者負担を原則とし、選手から集めさせていただいた活動費から購入し、準備します。現在、1選手年間1万円程度の活動費を集めさせていただき、予算を立てさせていただく計画でおります。

⑧ユニフォームについて

チーム指定のユニフォーム（シャツ、キャップ、ストッキング、ヘルメット）は、各自購入（一万五千円程度を予定）していただき、個人管理していただきます。また、アンダーシャツ（紺）、パンツ（白）、アンダーソックス（白）、スパイク（黒一色）は、各自で用意ください。

●ホームページおよび事務局の開設について

ホームページおよび事務局（e-mail）を開設しました。今後の体験練習会の日程・会場等は、ホームページにて最新情報をご確認ください。 ※QRコードをご活用ください。

神奈川やまゆりクラブHP : <http://yaplog.jp/yamayuri2016/>

神奈川やまゆりクラブ e-mail : yamayuri2016@y-mobile.ne.jp



神奈川やまゆりクラブHP QRコード

神奈川やまゆりクラブ e-mail QRコード

●今後の予定

年内には、県中体連軟式野球専門部を通じて、現1・2年生の女子部員への周知と、県学童部を通じて、中学野球部に在籍していない中学1・2年生女子生徒（YAMAYURI-OG等）、小学生女子児童を中心に広報し、1月より月1回程度の体験練習会を実施し、4月より活動説明会を含め、28年度の活動をスタートさせる予定です。

●おわりに

全日本軟式野球連盟主催の初の女子中学生全国大会が開催は、野球界にとっても、女子中学生にとっても、素晴らしいことだと考えます。皆様にご尽力をいただき、神奈川県野球界に新たな一歩を踏み出せればと考えておりますので、ご協力よろしくお願いたします。

